

## ウクライナ戦争。毎日情報更新。第276日 - 278日

英語版はソフィア・オリーニックさんとマリヤナ・ザヴィイシカさんによって作成されました。

外交政策。11月26日、ポーランド、リトアニア、ウクライナの首相がキーウでルブリン・トライアングル会議を開催しました。両首相は、ルブリン三角地帯の国々の協力に関する宣言に署名し、ロシア連邦による国外追放、エネルギー施設への攻撃、戦争犯罪、および疑似国民投票を非難しました。

OSCE議会へのウクライナ議会の常任代表団は、常任委員会がロシアを追放する規則を変更できなかったため、OSCEの作業をボイコットすると、OSCEのウクライナ代表団のメンバーであるクラヴチュツク氏は述べました。

亡命中のイチケリアのチェチェン共和国の政府は、1932年から1933年のホロドモールをウクライナの人々の大量虐殺と認めました。

5人のウクライナ国境警備隊が、ヨーロッパの国境警備機関Frontexの支援を受けて、ロシアとエストニアの東部国境で活動を開始しました。彼らはエストニアの同僚を助け、必要に応じて国境を越える人々の調査を行います。また、彼らの任務の1つは、EUで一時的な保護を求めているウクライナからの難民を支援することです。

経済安全保障。ウクライナと世界銀行は、45億ドルの助成金に関する合意に調印しました。助成金は、プロジェクト「ウクライナの持続可能な行政を確保するための公的支出の支援」の枠組みの中で米国によって提供されました。

ノルウェーは1億5,000万ノルウェー・クローネ(1,450万ユーロ超)を割り当てて、ウクライナ軍のEU訓練ミッションに資金を提供します。また、ノルウェーは、野戦病院をエストニアからウクライナに移転するための部分的な資金調達に430万ユーロを提供します。

攻撃を受けている都 ヘルソン州。11月25日、ロシア軍はヘルソン州のを39回砲撃しました。主に、ヘルソンの住宅地は攻撃を受けていました。砲撃の結果、民家などが被害を受け2人が死亡し、10人が負傷しました。11月26日、ロシアの占領者はヘルソン州を54回砲撃しました。ヘルソンでは民家、教育機関などが被害を受けました。ボリスラフでは、攻撃の結果、民家が被害を受けました。その結果、1人が死亡し、2人が負傷しました。ドネツク州。11月6日、ロシア軍はチャシウ・ヤールにミサイル攻撃を開始しました。5階建ての住宅が全壊し、別棟と倉庫が被害を受けました。その結果、3人が負傷しました。11月27日、ロシア軍はクラホフに発砲しました。その結果、4の家屋が被害を受けました。2人が死亡、1人が負傷しました。ザポリージャ州。11月25日、ロシアの占領者はザポリージャを攻撃しました。砲撃の結果、ガソリンスタンドが破壊されました。11月26日の夜、ロシア軍はザポリージャヘミサイル攻撃を開始しました。2発のミサイルが爆発した結果、農業企業で火災が発生し、フェンスと建物が損傷しました。

人権 11月25日現在、ロシア占領下のヘルソン市とヘルソン州で少なくとも381件の失踪事件が記録されている。さらに、少なくとも60人のウクライナ市民がロシア軍にウクライナ南部から占領下のクリミア半島に連行されました。行方不明者の国際委員会の職員は、ウクライナでの戦争中に15,000人以上が行方不明になったと報告しました。

ウクライナの国連人権監視団は、ロシアが10月10日にウクライナヘミサイルなどの攻撃の継続的な集中砲火を開始して以来、少なくとも77人の民間人が死亡し、272人が負傷したと報告しました。

戦争犯罪の訴追。11月26日の時点で、ロシアの占領者によって犯された320件の戦争犯罪が、ムィコラーイウ地域の占領されていないスニフリスカ コミュニティの領土で警察によって記録されています。

POW交換。11月26日、囚人の交換が行われました。12人の防御者がロシアの捕虜からウクライナに戻りました。この点に関して、戦争研究所のアナリストは、ロシア人捕虜の返還交渉に失敗したことに関する情報スペースの不満の波を静めるために、ロシア連邦はより頻繁に捕虜を交換する可能性が高いと結論付けました。

食料安全保障。11月26日、ホロドモール記念日の国際食料安全保障サミットで、ウクライナのゼレンスキ大統領は、ウクライナ産穀物プログラムの開始を発表しました。来年半ばまでに最大60隻のウクライナの穀物船がアフリカとアジアの世界最貧困に送られる予定です。ゼレンスキ大統領はまた、ロシア連邦の行動により、ボスボラス海峡の列は80隻以上であることを強調しました。

サミット中、フランスのマクロン大統領は、フランスがウクライナの穀物をソマリア、イエメン、スーダンに届けるために資金を割り当てると発表しました。ハンガリーはまた、ウクライナからアフリカ諸国への1万トンの小麦と食品の輸送を確保するために350万ドルを提供することを約束しました。

エネルギー安全保障 電力供給が定期的に遮断されるため、ウクライナのエネルギー状況は危機的になっています。最近のウクライナのエネルギーインフラストラクチャへの攻撃の後、国際的な支援がより必要です。ウクライナが今後数か月を乗り越えられるように、フランスはウクライナに100台の高出力発電機を送りました。リトアニアはエネルギー部門を支援するためにウクライナに200万ユーロ以上を提供し、すでにエネルギー機器を搭載した6台のトラックをウクライナに送りました。

フィンランドは、ウクライナの電気システムにエネルギー機器を提供することで、ウクライナを支援します。プラハ市は、キーウとミコラーイウに626台のヒーターと18台の骨材、および医療機関向けの機器を供給しています。ヨーロッパ以外のパートナーも、ウクライナが冬を乗り切るのを助けようとしています。アゼルバイジャンは、特に電気機器の供給において、ウクライナのエネルギー部門を支援します。韓国はウクライナに高出力の発電機を提供しています。カナダは、発電機を調達してウクライナの重要施設に配布するために、ウクライナ

に1000万ドルを割り当てています。[米国国際開発庁](#)は、ウクライナに80台の発電機と、ウクライナ鉄道のトイレ用に数万枚の毛布を提供しています。また、[世界保健機関](#)は、発電機をウクライナの病院に送っていると述べました。

11月25日、ウクライナ政府は、エネルギー インフラへのロシアの攻撃を理由に、薪の輸出を禁止しました。

国際原子力機関は、ウクライナの4つの稼働中の原子力発電所はすべて、今週オフサイト電源が完全に失われた後、再びウクライナのグリッドにアクセスできるようになったと報告しました。さらに、IAEA事務局長グロツシ氏は、国際原子力機関の専門家がウクライナのすべての原子力発電所に到着し、ウクライナの要請に従ってスタッフに支援と支援を提供したと述べました。

破壊。[ウクライナ](#)への本格的な侵攻が始まって以来、ロシアの攻撃の結果、約3万2千の民用物と7百を超える重要なインフラストラクチャーが被害を受けました。記録された砲撃のうち、軍事施設を狙ったものはわずか3%でした。

スポーツ 国際アイスホッケー連盟の懲戒委員会は、ロシアのアイスホッケー連盟に、クラブやリーグでウクライナでの戦争のプロパガンダによるIIHF倫理規定の違反に対する懲戒処分を下しました。

#### 読書コーナー

- [Exposing Stalin's famine in Ukraine – archive, 1933 | Ukraine | The Guardian](#)
- [The short life of baby Serhii, killed in a Ukraine maternity ward | The Washington Post](#)

#### 総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年11月28日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約 87,900人、戦車 2908台、装甲戦闘車両(APV) 5,861台、砲兵システム 1899台、多連装ロケットシステム(MLRS) 395台、対空戦システム 209台、固定翼航空機 278台、ヘリコプター 261台、軽装甲車 4,416台、ボートおよび軽装ボート 16台、運用戦術レベルUAV 1555台、特殊装備 163台、移動式短距離弾道ミサイルシステム 531台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- 戦争中の性的暴力の被害者を支援するNGO「[Sylni](#)」(日本語で「強い」)を支援してください。
- [ボランティア翻訳者](#)として[SharetheTruths](#)プロジェクトを支援してください。
- [Twitter](#)と[Web](#)サイトで毎日アップデートを読んでください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ **Slava Ukraini** ウクライナに栄光あれ！